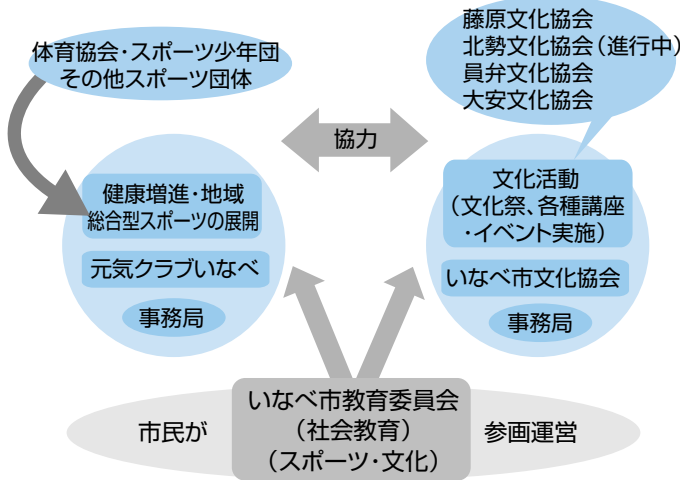


いなべ市情報誌 リンク

生涯学習課の改善（市民の参画）

- ①市民文化活動の支援
文化協会の設立（市民による運営）
- ②各種イベントの委託（市民団体へ）
文化祭、講演会、コンサート、青少年育成（市民による自主企画運営）
- ③文化財等の保護
市指定文化財（有形・無形文化財や祭り）、埋蔵文化財、天然記念物の調査・保存と支援

いなべ市総合型スポーツクラブ・文化協会の構想図



文化協会等の文化活動者数
185団体 2,250人



- 図書館は、合併により、どの図書館でも借りることができ、どの図書館にも返却できるようになった
- 中央児童センターや屋根のない学校、各児童館などの行事も市民と協働で計画実施するようになった
- 合併前、4町それぞれ行っていた文化イベント（コンサート、講演会等）も市民のニーズとイベントに適した施設に集約することで経費節減ができ、効果的な予算の執行ができるようになった

スポーツ振興課の改善（一体化、施設使用料の統一）

- ①体育協会の自主運営（市民活動の自立）
・旧町4つの体育協会からいなべ市体育協会誕生
・スポーツイベント・競技大会などの自主運営
- ②総合型地域スポーツクラブ（元気クラブいなべ）の設立
・子どもからお年寄りまで
・レクリエーションから競技スポーツまで
・はじめての人からベテランまで
- ③施設使用料の統一
・市内の同等施設の料金を見直し、平成17年7月から実施

屋根のない学校の様子
（自然の中での体験学習）

藤原岳自然科学館行事
（御池岳）



市内タスキリレー

成人式も新成人が自ら企画運営した

合併し、市内の運動施設を見直し、同等の施設の使用料を統一した。
市内どの施設も同等の負担で利用できる

4つの体育協会がいなべ市体育協会として統合したことで運営経費が、2/3になった



キンボール



スポーツゲームスの様子